



和歌山大学の学部・学環(921名)、大学院(229名)に入学された、合計1150名の皆さん、ご入学おめでとうございます。

和歌山大学を代表して、心からお祝い申し上げます。あわせて、本日この日を心待ちにしてこられたご家族、ご関係の皆さまにも、心よりお祝い申し上げます。また、ご臨席を賜りましたご来賓の皆さまに、厚く御礼申し上げます。

皆さんは今日、大学生として新たな一歩を踏み出しました。大学は、自ら問いを立て、自ら考え、自ら選び、自ら行動しながら成長していく場です。専門知識を学ぶことはもちろん大切ですが、それだけではありません。多様な人と出会い、対話し、悩み、失敗し、そして挑戦する、その一つひとつの経験を通して、自分の可能性を広げていくことが大学での学びです。

和歌山大学は、「未来を切り拓く知の舞台」を掲げています。これは、知識を身につけるだけでなく、その知を用いて社会と向き合い、自ら未来を切り拓いていく力を育む場である、という意味です。皆さんは今日から、その舞台に立ちます。ここで過ごす日々は、自分の力を磨き、仲間と出会い、視野を広げ、社会に貢献する力を身につけるための大切な時間になります。

まず皆さんにお伝えしたいのは、どうか自信を持って和歌山大学で学んでほしいということです。和歌山大学は、日経HRの「価値ある大学 就職力ランキング 2025-2026」において、「卒業生が活躍する大学」で全国24位、近畿4位と評価されました。さらに、「大学の人材育成力ランキング 2025-2026」では全国5位、「地域の活性化に貢献する大学」では全国4位に位置づけられています。これは、本学の教育が社会から高く評価され、卒業生が各分野で信頼され、活躍していることの表れです。皆さんがこれから学ぶこの大学には、確かな力があります。どうか胸を張って、この和歌山大学での学びを深めてください。

和歌山大学の大きな特色の一つは、和歌山県唯一の国立大学として、地域に深く根ざしながら、同時に世界にも視野を開いていることです。豊かな自然、海と山に囲まれた環境、そして高野山や熊野古道に代表される歴史と文化に恵まれたこの地で学ぶことには、大きな意味があります。地域の現場に足を運び、地域の人々との出会い、地域の課題を自分ごととして考えることは、教室の中だけでは得られない深い学びをもたらします。

本学は、教育学部、経済学部、システム工学部、観光学部、そして社会インフォマティクス学環からなる4学部

1 学環の総合大学です。教育、経済、工学、観光、情報という多様な学びが一つの大学の中にあることは、本学の大きな強みです。自分の専門を深めるだけでなく、異なる分野の学生や教員と出会い、考えを交わし、学びをつなげていくことができます。これからの社会では、一つの専門だけでなく、他者と協働しながら課題を多面的に捉える力が求められます。和歌山大学には、その力を育む環境があります。

また、本学は学部教育だけでなく、大学院教育の充実にも力を注いでいます。学部での基礎的な学びの上に、大学院ではより高度な専門性と研究力を培い、新しい知を生み出す力を身につけていきます。学部での4年間は、将来の職業人としての基礎を築く時間であると同時に、その先の研究や高度専門職への道にもつながる大切な時期です。皆さんには、目の前の学びに真剣に向き合いながら、その先に広がる可能性にも目を向けてほしいと思います。

大学での学びは、教室の中だけにとどまりません。授業やゼミ、実験、実習、研究に加え、地域連携活動、海外留学、インターンシップ、ボランティア、クラブ・サークル活動など、学びの場は大学の内外に広がっています。人と出会い、現場で考え、行動し、自分の考えを形にしていく経験が、皆さんの学びを本物にしていきます。

ここで、皆さんに二つお願いがあります。

一つ目は、仲間をつくってほしいということです。喜びや苦勞を分かち合える仲間の存在は、大学生活におけるかけがえのない財産になります。

二つ目は、周囲の人の声なき声にも耳を傾けてほしいということです。思いやりの心、対話する力、支え合う姿勢は、これからの社会でますます重要になります。

そして、本学が大切にしているのが、「学びと well-being の調和」です。知識を深めることと同じように、心と身体の健康を大切にしながら、自分らしく学び続けることが重要です。困ったとき、悩んだときには、一人で抱え込まず、仲間や教職員を頼ってください。和歌山大学は、皆さんが安心して学び、挑戦し、成長できる場でありたいと願っています。

ここで、ネルソン・マンデラの言葉を皆さんに贈ります。

「教育は、世界を変えるために用いることのできる、最も強力な武器である。」

この言葉は、大学で学ぶ意味をよく表しています。学ぶことは、知識を身につけることにとどまりません。物事を深く考える力を養い、自分自身を成長させ、周囲の人々や社会によりよい変化をもたらしていく営みです。皆さんが和歌山大学で重ねる学びは、自分の未来を切り拓くだけでなく、地域や社会の未来を支える力にもなっていきます。

最後に申し上げます。皆さんが和歌山大学を選び、今日ここに集ったことには、大きな意味があります。これからの4年間、あるいは大学院での年月は、皆さんの人生の土台をつくる、かけがえのない時間です。どうか自分の可能性を小さく見積もらないでください。ここには、自分を鍛え、仲間と出会い、社会に貢献する力を身につけるための豊かな舞台があります。

ようこそ、和歌山大学へ。

皆さん一人ひとりが、この「未来を切り拓く知の舞台」で、自信を持って学び、挑戦し、大きく成長されることを心より願っています。

本日は、誠におめでとうございます。

令和8年4月5日
和歌山大学 第18代学長 本山 貢